

## 第6回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 平成30年6月29日（金）午後0時30分
- 2 閉会日時 平成30年6月29日（金）午後1時24分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
3 番 佐藤 武君      4 番 佐々木雄司君      8 番 治徳 義明君  
9 番 原田 素代君      12 番 北川 勝義君      13 番 福木 京子君  
16 番 下山 哲司君  
18 番 金谷 文則議長
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
市 長 友實 武則君      副 市 長 倉迫 明君  
教 育 長 内田 恵子君      総合政策部長 作間 正浩君  
総 務 部 長 前田 正之君      教 育 次 長 藤井 和彦君  
総 務 課 長 原田 光治君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 奥田 吉男君      主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 平成30年7月行事予定について  
2) 平成30年9月議会定例会の会期日程（案）について  
3) 決算審査特別委員会の設置について  
4) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午後0時30分 開会

○委員長（下山哲司君） それでは、皆さん御苦労さまでございます。

ただいまから第6回議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ち、議長より御挨拶をお願いいたします。

議長。

○議長（金谷文則君） きょうは皆さん大変お世話になりました。ありがとうございました。

無事議会が終わりまして、いよいよ今度はすぐに9月の予定ということになりますので、また議会が始まりますまで一生懸命よろしく願いをしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございました。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、平成30年7月行事予定について。

はい、議会事務局長、説明を願います。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料に基づいて御説明をいたします。

7月の議会行事関係の予定で、主なものについて御説明をいたします。

まず、7月11日水曜日14時から赤磐市議会議員研修会を中央図書館のほうで開催をいたします。

13日金曜日10時から議会広報編集特別委員会。

17日火曜日10時から厚生常任委員会。

19日木曜日10時から総務文教常任委員会。

23日月曜日につきましては、10時から代表者会議。内容は、議長、副議長、常任の委員長、それから議運の委員長のメンバーでございます。13時から15時までの間で、組合議会のほうが開催されます。まず、13時から和気老人ホーム組合、それから14時から和気北部衛生施設組合、15時から東備農業共済事務組合、それぞれ和気町の役場で開催をされます。

24日火曜日10時から議会広報編集特別委員会。

27日金曜日9時から産業建設常任委員会。

30日月曜日10時から議会運営委員会。

8月に入りまして、1日水曜日10時から議会広報編集特別委員会の予定でございます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） それでは、今御説明がありました7月の予定のそれ以外の主なものを申し上げます。

今、お配りいただいとる資料の2日なんですが、11時から赤磐市複合型介護福祉施設整備工事起工式がございます。これは市長となっておりますが副市長も参加いたしますので、書き加えていただけたらと思います。それから、14時から赤磐交通安全協会総会・理事会。

それから、3日でございますが、13時から岡山市市長会議。

5日木曜日ですが、18時30分からあかいわ祭りの実行委員会。

それから、9日月曜日ですが、和気老人ホーム組合、それから和気北部衛生施設組合、東備農業共済事務組合の正副管理者会議がございます。それから、15時30分から片上鉄道の沿線地域活性化対策協議会総会が行われます。

それから、15日7時50分から吉井地域ソフトボール大会、13時からAMD A南海トラフ災害対応プラットフォームがございます。

それから、19日でございますが、行財政改革の審議会が13時30分からございます。

23日月曜日ですが、先ほど9日に申し上げました和気老人ホーム、それから和気北部衛生施設組合、東備農業共済事務組合の議会がございます。

それから、28日土曜日でございますが、9時45分からあかいわ映画祭り、10時から桃の品評会がこの映画祭りの中の行事として行われます。

それから、31日ですが、5時30分から中学生海外研修出発式、13時には地域創生コモンズあかいわ開所式がございます。

8月に入りまして2日ですが、10時からあかいわ創生有識者会議。

3日ですが、中学生海外研修に伴う表敬訪問ということで、市長が8日まで出張でございます。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいまの説明について、委員さんから何か質疑はございませんか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 先ほど下山委員長がおっしゃってた13日の班長会というお話は、ここで確認をもう一度してほしいんですけど。

○委員長（下山哲司君） ここでは……。

○委員（原田素代君） 日程調整で入らないんですか。13日の午前中というのは。

○委員長（下山哲司君） 班長会ですから、あれは。

○委員（原田素代君） ここでなくていいのか。

○委員長（下山哲司君） 委員会じゃないんで。

○委員（原田素代君） ああ、そうですか。じゃあ、もう1つ。31日の地域創生コモンズあかいわって、これ、どういうものか説明だけ教えてください。

○総合政策部長（作間正浩君） はい。

○委員長（下山哲司君） 総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） 地域創生コモンズあかいわというのは、岡山県立大学のほう

と3月1日に連携協定をいたしました。それで、その中で大学の教育や研究、社会貢献、こうした機能と地域課題というものを出していただいて、学生さんにそういうものを研究していただきます。地域におけるそういった問題の解決を通じて学生の地域志向を強めまして、こうした課題解決に伴う人間関係もつくっていきまして、学生さんを地域に目を向けさせて、この地域を理解していただいて、行く行くは職員になっていただいたり、地域に残っていただいたりというようなことも目的にやるものでございまして、地域振興の一つの手法としてさまざまな大学が今トライしているような事業の一つでございます。

地域で活躍するためには、その拠点が必要だということがございまして、会議室のほうを一部開放いたしまして、こうした学生さんに使っていただく拠点とするということでこの開所式をやる予定にしております。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） わかりました。熊山支所内の会議室が拠点になると理解していいんですね。

○総合政策部長（作間正浩君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） はい。おっしゃるとおりでございまして、熊山支所のほうにあります会議室の1室をパソコンが使えるような状態にさせていただきまして、こうした学生さんたちとか地域の方々と協働して地域課題に当たっていただくということにしております。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 31日から始まって、一応計画はいつぐらいをめどにされてるんですか。

○委員長（下山哲司君） 総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） 1年かかわっていただいて発表するような場所も設けておりまして、そうしたところへ提示していただいて、赤磐ではこんな取り組みをしてますよということを皆さんに発表するような場所もございますので、また御案内のほうはさせていただくようになると思います。

○委員（原田素代君） ありがとうございます。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 30日の議運なんじゃけど、ちょっと所用があるんじゃけど、11時ぐれえからじゃったらおえんかな、10時になつとるんじゃけど。欠席してもええんじゃけど、そりゃあ、どんなかなというのが1点。

それから、コモンズあかいわというのはもうわかった、今聞いたわけじゃから。市長が8月

3日から8日までスリランカにおるということか。2点目がそれ。

それから、31日に中学生海外研修出発式というのがあるんじゃけど、それは出発式やこうええんかな、朝の5時半じゃけえ気にしとんかどうかな知らんけど、所用じゃけえ、議長やこう出んでもええんかな。その3点。

○委員長（下山哲司君） 総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） 議会運営委員会の時間はよろしいですね。

○委員長（下山哲司君） それは私が言います。

○総合政策部長（作間正浩君） 中学生の海外研修出発式のほうは、朝早くて、皆さん集まっていたいですぐ出発されるということで、一応皆さん一緒に頑張りましょうということで顔見せの式を行うようにしております。こちらのほうは、議長さんに出席ということは考えてはおりません。

それから、3日の中学生海外研修に伴う表敬訪問は、市長さんのほうに、この事業を始めさせていただいて、AMD Aさんがぜひともこうした事業の継続ということもありますので、最初でございますので、表敬訪問していただいて向こうの政府関係者に会っていただいて活動のほうを支援していただくというようなことも考えております。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

議運は後から私が。

○委員（北川勝義君） 時間が早えから遅えから、関係ねえわ、おめえ。ほんなら、市長だけでやれえ、これは。議長にまで8日からついていけえとは、そこまで言よんじゃねえんじゃけど、議長、忙しゅうても出にゃあおえん。議会軽視しとんじゃ。予算つけてやりよんのに、議長がおえなんたら、議長が事故があつて都合が悪いときには副議長がおられるんじゃから。それは5時半が何時であろうと、出なんたらおえん、こげえなこと。よろしいと言うて、自分らだけで判断しておえるもんか。ほんなら、これから、じゃったら議会だけ、議会軽視して自分らで判断してやりんせえ。それは僕が議長じゃったら、忙しくてもぜひ出たいと、これはもう初めてのことでやることじゃけ出にゃあおえん、職務じゃもん。空中散布やりようるけん、職員がほんなら朝3時半に出るけえ言うて、おえん、朝早えけえ出ませんやこう、そんな話はねえわや。わしはそう思うとる。どねえ考えとんな、おめえ。その考えちょっと聞かせてん。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○委員（北川勝義君） 議長は要らん、議長の話じゃねえ、執行部じゃ。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○委員（北川勝義君） 違う、違う、ちょっと待つて、下山さん。

○議長（金谷文則君） 私のほう、議会としては、今初めて見させてもらったということでございますので。

○委員長（下山哲司君） 声がかかったら出るということじゃな。

○委員（北川勝義君） 下山さん、ちょっと待って。違うって、そねえな話しょうらん。あんたもう、下山さん、ぐしい話したらおえん。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） そんな、おめえ、議長が出るとか出んとかという話じゃのうて、こりゃあ議長が出にゃいけんのんじゃという話をしょうるわけじゃ。そりゃあもう、朝が早えから議長出んでもええというような話じゃねえんじゃ。早かろうと遅かろうと出なおえんこと。それで、議長が公務があつて行けれんと言うんじゃったら、眠てえけえ行かんと言うんじゃったら副議長に行ってもらうとか、誰かが出にゃおえんと、議会はすべきじゃということを書いたかったんじゃ。それを大事なことを言よんじゃがな。これが何遍もして、これ3回目じゃとか3年目じゃというなら、まあええがなという話もあるうけど、第1回目じゃけん、僕は特に出るべきじゃと思うて。

○委員長（下山哲司君） じゃから、議長が早うても出るというたら……。

○委員（北川勝義君） いや、議長が出る、それが下山さん、間違うとんよ。議会のほうに出てくださいというのがなけりゃあおえんのじゃ、こういうことがあるということ。金谷議長が今初めて知ったと言うんじゃけえ、あるんで出てくださいという要望がなかったらおえん、局長、そうじゃろうがな。議長が朝早えけえ、遅えけえ、行けるけえ行けれん、そんな話じゃねえ、都合じゃ。僕が言よんのは、執行部が考えていただきてえということ、下山さん、言ようるわけ。それをどう考えとんならというて、議長に答えてもろうたんじゃ意味ねえんじゃというて。

○委員長（下山哲司君） いやいや、総合政策部長の言われるのは、朝早くてお気の毒なからというような表現じゃから、議長に聞いて、それで……。

○委員（北川勝義君） それはいけん。

○委員長（下山哲司君） 総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） 済いません。朝早くて申しわけないという気持ちがありましてそういうことにしとったんですが、御案内しなかったことにつきましては申しわけないと思っております。済いません、伺ってからお話しすればよかったと思います。済みませんでした。

○委員長（下山哲司君） 案内するんですね。

北川委員。

○委員（北川勝義君） 下山さん、勘違いしちやあおえんで。朝が早えとか遅えとか。

執行部がこういう言わにゃあおえんということを書よんで、市長も朝早えけえ行かんって気い使うてもろうたほうがええんじゃねえんか。

そりゃあ僕がこれ言うたらな、書いてねえから知らんで、僕はわからんけど、これには市役

所の玄関前、市長が出りゃあ、中学校が行くんじゃけ、教育長も出とかにゃおえん、副市長も、わしはそう思うとんじゃ、僕はな。そりゃあ総務委員長も出え言うたら行くけど、僕はそこまで……、議長が出たり、当たり前じゃあと思うて僕は思うとんよ、出ると思うとるから。それが忙しいけん来れんと言うたりする話はナンセンスな。

○委員長（下山哲司君） 案内があるということでよろしいですか。

○委員（北川勝義君） よろしい。

○委員長（下山哲司君） それから、今議運の時間について北川委員よりお話があったんで、皆さんにお諮りします。

10時を11時に変更してもよろしいですか。

○委員（北川勝義君） ようけ議題があるんか。

○委員長（下山哲司君） 時間的には十分じゃと思うんですけど、一応始まりは10時に決まっとる。

○委員（北川勝義君） わかっとなんじゃけど。

○委員長（下山哲司君） 特別に問題はねえんじゃろ。皆さんがそれでいいということになりゃあ。

○委員（北川勝義君） 11時じゃったら来れると思うけえ。

○委員長（下山哲司君） 皆さんがよろしいということであれば11時……。

○委員（北川勝義君） 欠席してもよかったら、それでええんじゃけど。

○委員長（下山哲司君） とりあえずお諮りして。

○委員（北川勝義君） 僕のためにどうこう言うて、日にち変えてくれえじゃねえ。僕は、ちょっと下山さん。何か局長が今ごろたるんどるんか、わしきのうも怒っとったんじゃけど、やるのにたるんどる、削除してください、今のは。

大体議運でも、月末にするというのに月末が土曜日とかというたら30日にするように、何か30日にした、31日でもえかったんじゃねえかというわけじゃ、例えばの話をしたらで。

○委員長（下山哲司君） 30日に決まっとるというのを以前に、際でないほうがいいということで、そういうことで1日前と……。

○委員（北川勝義君） いや、じゃけそれもな、違う、違う、それもそういう場合もあるし、ほんならそんなこと言うなら、皆これからそうせられ、30日に。

○委員長（下山哲司君） 一応考え方としてはそういうことで。

○委員（北川勝義君） それじゃったらそうせられえよというて言よんじゃがな。きょうは29日じゃけん、30日が休みじゃけん29日にしたということじゃな、議会があっても。ほんなら、5月のときにはそれでええんじゃな、みんな。それでええんじゃったら、下山さん、それは僕はそういうことを言いたかっただけで。

○委員長（下山哲司君） 諸事情がある場合は変えさせていただく場合もございますけど。

○委員（北川勝義君） 諸事情いうて……。

○委員長（下山哲司君） よろしいか、北川委員。

はい、福木……。あつ、ちょっと待ってよ。さっきの返事だけ。

○副委員長（福木京子君） いやいや、その返事じゃ、その返事のこと。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○副委員長（福木京子君） やっぱり基本は10時からということなんで、それは守ったほうが私はいいと思います。

○委員（北川勝義君） 下山さん。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） よろしい。ほんなら、あんたら吐いた唾飲んだらおえんぞ。あんたら勝手に委員会は13時にしようとかしようんじゃ。これが違うたら、たがえたらもうこらえんぞ、もう来ん、この日は来んからよろしい。議運で決めて。全部予定があっても僕はもう絶えず、あんたらの稼働率よりわしのほうがいい、全部休まず出とる。

○委員長（下山哲司君） ちょっと委員長にしゃべらせてくれんか。

○委員（北川勝義君） もう出ません、よろしい。

○委員長（下山哲司君） それはいい。

○委員（北川勝義君） 帰ります。あんたらとしようってもおえん。

○委員長（下山哲司君） 一応議運の時間は委員長と副議長と相談して決めることになっとなんですが、今までの議案を配るときは1時にして、2時から……。

○委員（北川勝義君） 下山さん、僕に言わせて。議運は、全協をな、するとき議運でも10時からして、全協は1時からするというてしょうったろ、午前か午後にしようというて、議運も悪いけど13時半からして、それから後全協するとやりようりましたが。

じゃったら福木さんの言うたことは違うで。時間、おめえ、これから全部10時にやれえよ。たがえたらいけんど。

○委員長（下山哲司君） 北川委員、もう1つ言わせてください。1時からして2時にというのは議案があるときで、全員にかかわるときですからそういうふうに配慮させていただいておりますけど、個人的なものをやる場合はこうやって協議をして、お願いしてさせていただくことにさせてもらわんと、私の一存でもいきませんし、そういうふうに御理解をいただきたいと思います。

○委員（北川勝義君） 下山さん、もうこんなこと議論せんでもいい。じゃあから、好きにすりゃあええ。そのかわり、今福木副委員長が言うたんじゃから、ほんなら各委員会は絶対に、今度は変えんように10時からやってもらわなおえんぞ。原則10時からするのは当たり前の話じゃから。違う時間にしたらいけんど。

以上。

○委員長（下山哲司君） それじゃから、北川委員、私が今言うたように、個人的なもんはそのときにお諮りしてというんで私がお諮りしようんじゃから、福木委員が1人言うて決定するわけでもないんで、ほかの皆さんにも聞きますので、そのときにちょっと御意見、順番に。

はい、佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 当然、委員の皆さんの御都合ということで委員長が確認されてますし、委員の皆さんが御都合がよければ、当然執行部のほうも都合がよろしいということであれば変更してもいいかなと思います。委員会の視察を含めての委員会開催も9時とか、弾力的に時間を決めてますので、そういうことで調整ができればと思います。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 調整が可能な範囲であれば受け入れますよ。

○委員長（下山哲司君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 調整がつくならば、私もそれで結構です。

○委員（北川勝義君） 下山さん、ちょっと。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 私、そんな意味で言よんじゃねえ。内容が10時からして2時間でもせにゃおえんことか、3時間せにゃおえんことじゃったら僕はその時間でええんじゃ。たまたま所用があるから、ほかの公務があるから、公務変えてくれにゃあおえん、公務をダブらさんようにしてもらわにゃおえんわけじゃ。公務にダブっとるから、ダブらさんようにしてもらわにゃおえんということを言ようるわけじゃ。ダブって、監査して来ようたら、和気から監査しゅうたら……。

○委員長（下山哲司君） 執行部のほうにも聞きますから。

○委員（北川勝義君） 僕は考え方で、早うしてくれえってお願いしようと思って、9時とかにしてもらやあ、こっちへ11時ぐらいまでに間に合うからそうしようしようんじゃ。そうせんのじゃったら変える必要もねえし。内容が物すごい幅が広うて、これは変えれんというようなのがあるんじゃったら、僕はそんなこと言ようりゃしません。無理して……。

○委員長（下山哲司君） 事務局の確認は、11時からでも12時に終われるというふうに理解しておりますので、執行部のほう、もし変更させていただいてもよろしいですか。

○総務部長（前田正之君） 執行部のほうは体制を合わせますので、よろしくをお願いします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは、できれば北川委員が11時にしていただきたいという御意見があるんで、11時に変更してよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、11時と……。

○委員（北川勝義君） 委員長。

じゃあから、これをやるときに職員がたるんだから言よんじゃがな。日程のときに、何時にどこと打ち合わせをしてやってもらわな困ると言よんじゃがな。公務じゃのうて……。

○委員長（下山哲司君） いや、それは……。

○委員（北川勝義君） ちょっと、下山さん、待って、違うって。僕が勝手に自分のことで、パチンコ屋へ行くんじゃとか飲みに行くんじゃったら時間はええ。僕は公務で、東備農業共済の監査をせにゃおえんと決まってやっとなんじゃから、それを連絡してもらって密にしてもろうとかにゃいけんということを言よんじゃがな。それでできるんじゃったら、もう仕方がねえから、ここは1時間延ばしてくれりゃあ、監査を10時からするのを9時に前倒して、監査を9時にしてくれえとお願いして間に合わそうとしようるんじゃ。別に間に合わすことはない、僕が勝手にえごで言よんじゃったら、福木さんが言うたように、今まで決めとんじゃけと言うんじゃったらやってもやあええんじゃ、来りゃあへん、あほらしい、何しい来にゃあおえんのん、ばかばかしいわ、そんなん。

○委員長（下山哲司君） はい、福木委員。

○副委員長（福木京子君） 公務で変えるというのを説明されたんかな。

○委員（北川勝義君） 公務があるから休むと言よんがわからんのんかな。

○副委員長（福木京子君） それはちょっと聞き間違えました。公務と重なったんだったらもうしょうがない。

○委員（北川勝義君） じゃったらここじゃのうて、こっちが調べえ言よんじゃ。

○委員長（下山哲司君） 福木委員、前にも言うように、ここにおけるメンバーだけで変更の場合はここで相談してできるんで、ほかのメンバーにかかわるときは事前にやりますけど、ここにおけるメンバーだけですから配慮しますという委員長の話なので。

○委員（北川勝義君） 僕はほかの公務が入るとるから、福木さんがほんなら何かの公務が入ったとする、福木さん、公務じゃのうてもこう言うんで、福木さんはこう言うたんで。悪いけど、こういうぐあいに見に来にゃあ、聞きに行かにゃあおえんから、この日はいけんというて変えたことがある。僕らはそんなことは言わん、自分の公務じゃから、公務でして、じゃから議会事務局が調整してくれえよということを議会事務局に言ようるわけ、僕が言わんでも。福木さんのとはまた違う、傍聴しに行かにゃあおえんけえ、この日は変えてくれえということもある。

○副委員長（福木京子君） そんなこと言ってないです。

○委員（北川勝義君） あります、山陽団地のことがあります、何を言よんじゃ。

○委員長（下山哲司君） もうよろしいです。

委員会運営については、委員長の責任がありますので、執行部の手落ちがありましたら私の責任でございます。そねえなんないように努力しますので、御理解ください。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項２番目、平成30年９月議会定例会の会期日程（案）について。

はい、局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料の最後から２枚目をお開きいただきたいと思います。

８月、９月のスケジュール案について御説明をいたします。

９月定例会を８月30日に開会する日程で組んでおります。その関係から、８月22日13時30分から議会運営委員会、引き続き14時30分から議会全員協議会の開催となります。この関係で一般質問通告の受け付けは、８月13日８時30分から始まり、17日17時を締め切りといたしております。

９月定例会は、８月30日と31日が本会議で、議案の上程となります。

９月３日及び４日の両日は一般質問とし、５日及び６日を予備日といたしております。

７日は本会議で質疑、委員会付託となります。

10日は予備日となります。

11日、12日は決算審査特別委員会となります。

各常任委員会は、13日に厚生常任委員会、14日に産業建設常任委員会、18日に総務文教常任委員会となりまして、19日を予備日といたします。

最終日を９月27日とする案といたしております。

なお、８月23日は午後から岡山市議会議員研修会を美作市のほうで開催する予定となっております。詳細の御案内につきましては、日程が決まり次第皆様に御通知を差し上げます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か御意見がございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ次に進んでよろしいですか。

一応、案としてとっておりますので、御理解をいただきたいというふうに思います。

それでは、続いて協議事項３番目、決算審査特別委員会の設置について。

議会事務局長、説明をお願いします。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、決算審査特別委員会の設置について御説明をいたします。

最終ページをごらんいただきたいと思います。

例年のとおり、先ほどの９月定例会の日程の中でも御説明をいたしましたが、９月には決算審査特別委員会が入ってまいります。本年度につきましては、平成29年度の一般会計、特別会

計、公営企業会計の歳入歳出決算の認定につきまして審査をいただくものでございます。

委員の定数は7名、選任につきましては副議長ほか各常任委員会のメンバーの中から2名の方を選んでいただく案といたしております。そのため、これから9月定例までに開催される7月、8月の各常任委員会の中におかれまして、2名の方の委員の選出をお願いしたいと思っております。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明がございました、恒例のことでございますので、各委員長さん。

はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 済いません。前に戻っちゃうようになるかもしれませんが、11、12の決算特別委員会で予備日がないですね。もう翌日が厚生に入っちゃっていて、決算の特別委員会の予備日というのがあったほうがいいような気がするんですが、どうでしょうか。もう無理無理2日間で終わればいいんですけど、過去にはちょっと長引いたこともあるので、一応決算特別委員会としての予備日というのはどこかに入ることは……。

前の予備日がありますね。12を予備日にしたほうが。調整ができればですけど。

厚生が入っちゃてるから。できれば連続したほうがいいですね。

○委員長（下山哲司君） それは、あと3つを1つずつずらすか。

○委員（北川勝義君） ずらすというより上じゃ。10日を上に持ってかにかあ。

○委員（原田素代君） だから、10日に1日目をするか。

○委員（北川勝義君） 10日、11をして、12日を予備日。

○委員長（下山哲司君） 7日の予備日がのうなるんな。まあ、土曜日にやっちゃあいけんという法律はないんじゃないけど。

はい、局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） 今の御質問についてなんですが、9月7日の本会議の予備日が10日という形でとらせていただいております、もし決算審査特別委員会の予備日をとるんであれば、12以降に入れて、各常任を下へおろすような形になると思います。

○委員（北川勝義君） ちょっと待って。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 勝手な話ばあでな、自分らが組んできたんじゃないろうが。自分らが組んだのに、決算も予備日はとらにやあおえるもんか。じゃったら、そげえな難しいこと考えんで、一般質問は3日間、最高しても3日間じゃ、2日間も一般質問ととるが。2日間、じゃけそれをととるが、9月6日に本会議を持っていきやあええだけじゃねえんか。別にそれを1個上げても戻るんじゃないねえんか。

9月7日の本会議を、質疑、委員会付託を6日に持ってきさえすりゃあ、7日が予備日かと

れるし、委員会付託もとれるし、それから10日に上げちゃりゃあ、10日、11日とすりゃあ12日が。それを下げる、下げるって、どこへ下げるんか。

○委員長（下山哲司君） 次の一般質問から6人、6人にしたもんですから、3日の可能性が。

○委員（北川勝義君） 3日しか要らんがな。

○委員長（下山哲司君） 3日に1日予備日をつけたら、この……。

○委員（北川勝義君） 3日に予備日をつけるというて……。

○委員長（下山哲司君） になるんよ、どうしても。ですから、ずらすとすれば、13日を休会にして14日を厚生にして、18日をとという形になるんで。

○委員（原田素代君） 苦勞して委員会、みんなとってるから、今さらまた戻したら委員会、大変なことになる。できれば、10日の休会日を質疑、委員会付託に、ほとんど予備日使いませんから、10日から決算の特別委員会を10、11とやって、12日を決算の予備日にしたほうが、早くということです、余り弊害がなく、周りに。委員会を全部動かそうと思うと、とても大変ですよ。

○委員（北川勝義君） これをとるときに決算の予備日をとってねえけえじゃ。

○委員（原田素代君） だから、10日を繰り上げてやったら……。

○委員（北川勝義君） 質疑や委員会付託、質疑とあれでそねん出るもんか。

○委員長（下山哲司君） 一応システマ的には次に予備日をとるということになつとんで。

○委員（北川勝義君） 8日の休会のとときに予備日をとったらおえんのか。

○委員長（下山哲司君） じゃから、予備日じゃから、今僕が言うたのが土曜日にしちゃあいけんという法律はないんで、予備日と入れさせてもろうてもよかったら、そういうあれもできるんじゃないかなという。

○委員（北川勝義君） 繰り上げようって、皆どっこも段取りして、皆、なつてこう。

○委員長（下山哲司君） 御理解いただかにゃいけんのは、議長に、もう7日は必ず何時になつても済ますと、こういう考え方のもとでお話ししようんですけど。まず、今までの例でいけば、9月は大体早目に終わつとりますので。

じゃから、土曜日を予備日につけさせていただいたら、別に法的には問題ないと思うんで。

しっちゃあいけんという法はないんじゃ。じゃけ、予備日じゃから。

○委員（北川勝義君） 特に、予備日をとるんじゃけえ。

○委員（原田素代君） いや、だから10日に繰り上げてもらえるんですか。

○委員長（下山哲司君） そういうことを言よんですよ。

○委員（北川勝義君） 10日、11にして、12日を予備日に。

○委員（原田素代君） それが一番いいと思います。

○委員（北川勝義君） じゃから、質疑のときを議長に終わつてもろうて、土曜日を予備日に

しときゃあええがなという話。おえんのんか、土曜日できんのんか、土曜日できよう。

○委員長（下山哲司君） 法的には問題ない。

○委員（原田素代君） 形式的なものとして。

○委員長（下山哲司君） じゃから、この委員会の皆さんがそれでいいということになれば、それでいいですから。

○委員（原田素代君） ただ、執行部はそれに対応できるんでしょうか。

○委員長（下山哲司君） そりゃあ執行部はそれに合わせてやっていただかにゃあ、どうしようも。

議長。

○議長（金谷文則君） 僕が心配するのは、議会事務局もそうなんですけど、一般事務があらうかと思うんです、議会中の。それで、ずっとつながっていきようったときに、一般事務がたまってきたりすることがあらうかと思うので、今の人数でやるとしたら、9月10日があいとるような形をとつとかなないと、何があるやらわからないので、議会だけじゃなくて議会事務局のほう、それから執行部のほうも何か仕事があらへんかな、出てきたときに困る感じじゃないかなという気はするんですけど、それは皆さんのお話なんですけど。

○委員長（下山哲司君） それと、もう1案、先ほど言うた……。

○議長（金谷文則君） やるとしたら、予備日をどうしても、例えば今の決算でとるということになれば、もう仕方なしに、皆さん調整されとるかもしれんけど、後ろへずらさなきゃいけない、本会議もすぐですから、そういうふうになると思います。

○委員（北川勝義君） ちょっといいですか。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） こげな話しょうってもおえんけど、土曜日に予備日をとっちゃあおえんって、何でおえんのか。ほんなら、今度土曜日があつたらできらへんぞ、次のときには。とっちゃあおえんことはねえで、おめえ。最初から予備日を組むけん悪いかもしれんけど、今議運の委員長は突発的なこっちゃから、今回は組ませてもらう、定例のときじゃねえから組ませてもらいてえ……。

○委員長（下山哲司君） 案ですけどね。

○委員（北川勝義君） そういうことはええんじゃねえんか、それは。そねえ難しゅう言うたら、赤磐市はほんなら、これから土曜日には予備日を組めりゃへんで、絶対に。

それから、議長の言ようる案、とつとつてずらせえということで、11、12でずらすようになったが、議長、例えばの言い方な。例えば、ほんなら本会議質疑は8日も委員会をしたと、9日も委員会をしたと、10日も委員会をせにゃあおえんようなことになったらどうなるんなら。そういうこともあり得るじゃねえか。

じゃから、議長も今まで質疑、委員会付託、決算特別審査に一番時間かかる、せにゃあええ

んじゃったら休みとらんでもええがな、予備日なんかとらんでもええんじゃったら、やめりゃあ決算特別審査委員会も……。

○委員長（下山哲司君）　じゃから、実務的に言うたら、決算が1日前に行って、委員会との間に休憩日があるほうが執行部としては楽じゃと思う。

○委員（北川勝義君）　違う違う、議長が言ったのは、ほかの事務局の仕事があると言うから、仕事いうて、議会をしようときは仕事を一番にこっちに優先してもらわにゃおえるかや、そがん仕事があるわけねえがな。ここを済まさんたら……。

○委員長（下山哲司君）　そういう話になると、また前にあった話になるけえ、それはもうなしにして……。

○委員（北川勝義君）　決算を遅うまで、決算をほんなら途中でやめて、2日目じゃけえ予備日がねえ言うてやめにゃおえんことになるんで、次ずらせというて。

○議長（金谷文則君）　予備日をつくりゃあええが、それは。

○委員（北川勝義君）　つくらんでもつくってもええけど。

○委員（原田素代君）　委員会をずらすようにはしてほしくない。

○委員（北川勝義君）　じゃから、はっきり言うて、これを組んだときに間違うとるというて言よんじゃがな。

○議長（金谷文則君）　今、これはまだ……。

○委員（北川勝義君）　組んだときに間違うとるがな。

○委員長（下山哲司君）　案ですから。

○委員（北川勝義君）　案で組んだときの間違うとるうがなと言うんじゃがな。何でほかのとこだけ組んでから、ここの決算だけ予備日を入れなんだんなど聞きよんじゃがな。決算が一番時間がかかりようろうが。

○委員長（下山哲司君）　はい、事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君）　休会についての取り扱いにつきましては、会議規則によりまして市の休日は休会とするという位置づけにしておりますので、土日、祝、年末年始、そういったところについては休会の扱いとなります。

○委員（原田素代君）　じゃあ、予備日でもいいってことですか。

○委員長（下山哲司君）　じゃから、別に法的には予備日をつけたからというて問題はないんじゃ。じゃけど、実際にやるとなったら職員さんの関係があるから、そうはいかんからという話で、9月7日は議長が1日で済ますという考えでいけば、予備日がなかったらおかしいので土曜日に予備日をつけて、8日の。それで10日から決算を2日やって、10、11と、12日を予備日というほうが執行部のほうも楽だと思うんですが。

○委員（北川勝義君）　大体な、本当おかしいぞ、この案をつくっとんのは。厚生委員会の予備日はねえし、産建の予備日もねえし、総務文教だけ予備日がある。

○副委員長（福木京子君） 委員会の全体の予備日ではないか。

○委員（北川勝義君） 全体の委員会の予備日じゃなからう。

○議会事務局長（奥田吉男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） ここで定めております19日の予備日というのは、決算特別委員会から常任の3常任委員会までを含めた予備日という位置づけで、委員会が全部終わった後に予備日をとらせていただいています。

○委員（北川勝義君） ほな1日で終わるんじゃな、予備日が。そねえなろうがな、1日で終わりゃあせまあがな。10時から委員会をして、12時からして、3時からして、終わりゃへんがな。

極端に言ったら、決算がほな予備日になってとれというこっちゃな。火、水にして延びたら、それを最後にせえというこっちゃな。

○議会事務局長（奥田吉男君） 19です。

○委員（北川勝義君） そねえなごじゃがあるか、おめえ。

ほんならおめえ、極端な話、下山さん、厚生が13日に延びるが。13日に延びて、流会になったとする、夜でもできるようになって終わらんとして、14、そしたら19日にするんか。

○委員長（下山哲司君） そうです。

○委員（北川勝義君） そねえなことがあろうに、おめえ、ごじゃばあ。委員会は遅うなっても済まそうけど、本会議も済ましようるわ、そりゃあ。まあ、ええわ、好きにせられえ、あんたらの思うたように。あんたら、もう間違うとること一切認めん、自分らの考えしか押しつけんのんじゃから。

○委員長（下山哲司君） それでは、今この案ができたとおりでよろしいですか。

○副委員長（福木京子君） 確認してください。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） だから、決算の予備日が必要です。私の提案は10日の予備日を振りかえて、10、11と決算の委員会をしていただいて12日に予備日にするというのが一番影響が少なくて変更がきくと思うので、それでいかがでしょうか。

○委員（北川勝義君） ちょっとよろしいか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） ちょっともとに戻るけど、それでいいんじゃけど、もう言うたら、もう事務局やこは予備日は要らんというて考えとんじゃ、総務文教も厚生も産業も決算審査も、2日間とったら。じゃから、こういう書き方になつとんじゃということじゃ。今までそういうことがなかったからな、委員会でも夜遅うなってもやるがな。この間も、産業でも8時か9時ごろまでやったがな。何とかなるから、もうこれ予備日にとってねえんじゃ。

○委員（原田素代君） 前はとってましたよ。

○議会事務局長（奥田吉男君） いや、これまでもありません。

○委員（原田素代君） だって、予備日があるからどうしようかって審議した覚えがある…  
…。

○委員（北川勝義君） 日にちだけ抜くということになったら、おかしいことにならなあ。ひつついたらとれんのんじゃろ、おえんのんじゃろ、それを前へ持っていったら。質疑の予備日は絶対にとらにやおえんのんか。

○議会事務局長（奥田吉男君） はい。

○委員（原田素代君） 何で決算はとらないんですか。

○委員（北川勝義君） とつとるが、決算は。19日にとつとんじゃ言よんじゃ。

○議会事務局長（奥田吉男君） 19日。

○委員（北川勝義君） 間あけてとつとる。

○委員（原田素代君） そんなとり方ないでしょ。

○委員長（下山哲司君） 言うたら、皆委員会をとるということになったら、もう必ず決算して、厚生をして、休会を産建をしてなるから、委員会は今までもこういうような形態でいっております。

○委員（北川勝義君） 勝手にしたらいい。

○委員長（下山哲司君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） ちょっと確認をしたいんですが、要するに厚生だとか産業だとか常任委員会のほうが、ここでいうことでかちっともう先に決まっちゃってるんで、こういう日程になったという、そういう考え方ですか。

○委員（北川勝義君） 違う、ちょっと下山さん。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 定例議会のときには委員長にも相談がねえし、定例議会はもうぽんぽんと決めるがな。もう何も僕ら聞いたことがねえ。この日になりましたというのが定例じゃというのが決まりようだけじゃから。執行部と、悪いけど議会事務局と相談してやっとなだけのことじゃが。我々に何も一切相談もねえもん。今まで過去、あったことがあったら言うてえ、定例のときはな。定例じゃねえときは別よ。

○委員長（下山哲司君） 最初はもう定例も前月に決めとったんです。ですが、皆さんの御意見で1月でも早く示してほしいということで、2月前から案を示すようにしとんです。そういうふうに変更したんです。ですから、今はずっとそういう形態でやっとなで、内容についてはさほどは変わってません。ただ、案を提示するのが1月早くなったということは皆さんの御意見でやっとなりますから。

○委員（原田素代君） 今は予備日の話をしてるんです。

○副委員長（福木京子君） 昨年と一緒だったんです。

○委員長（下山哲司君） じゃから、内容的には昨年と変わって……。

○委員（北川勝義君） 去年の決算は何時ごろまでかかったか。

○委員長（下山哲司君） いや、私参加してないんで。

○委員（北川勝義君） 去年は割に早かったほうじゃねえかな。

○委員（原田素代君） でも、7時ぐらいまで。

○委員（北川勝義君） 何時までかかったか。

○委員（原田素代君） もう決算委員会が深夜に及ぶときに、予備日でやるか、もうこのままいくかという議論をしたような記憶があるんです。

○委員長（下山哲司君） それは、やりようる委員会で決めとることです。

○委員（原田素代君） だから、本来なら予備日があるべき。

○委員長（下山哲司君） だから、先ほど言うたように、委員会は委員会と捉えた考え方で、局長が言うたように最後にまとめてというのが今まで従来の形だったんで。

○委員（北川勝義君） それは、そのときじゃったら6月やったら別にええんじゃが。決算があるから……。

○委員長（下山哲司君） そうそう、決算があるからな。

○委員（北川勝義君） それで、今福木さんに言うてみた決算も9時からしてくれえと言うたらおえんわけじゃ、10時からじゃろ。

○委員（原田素代君） そんな議論もした。時間がかかるから9時からやろうって話もした。

○委員（北川勝義君） やろうかという話、やったろ、一遍ここで、議運か何かでやったはずなんじゃ。

○委員（原田素代君） やってはないような気がするけど、そういう意見はあった。

○委員（北川勝義君） 話が出たが。

○委員（原田素代君） 時間がかかるから。

○委員長（下山哲司君） 今までもそうですけど、それなりの理由があればこの委員会で変更は可能ですよというのは、今まで前提でやってきとると思います。何か、僕が用があって電話したら、もう終わっとりますよと言うたで。5時過ぎに終わったんじゃないか。

○委員（原田素代君） だから、2日間あるからどっちか……。

○委員（北川勝義君） 片方が片方やっとして、議会と同じやり過ぎにやっとするか。6時ごろまで原則でやっとして。6時には終わってなかったか。

○議会事務局主幹（黒田未来君） 1日目が5時半で2日目が6時半です。

○委員（北川勝義君） 予備日を19日にとつときゃあ、もう今さらもう、次から気をつけてもらやあ、次から下山さん。

○委員長（下山哲司君） 次からはまた……。

○委員（北川勝義君） 次はもうねえんじゃけど、来年まで。

○委員長（下山哲司君） いやいや、議長とのあれのときに、協議会のときに議題とさせていただくということで、議長、お願いします、そういうことで。きょうはこの予定でやらせてください。

それで、先ほどの特別委員会の設置についての各委員長さんは、2人ずつ選出を7月の委員会でお願いいたします。よろしいですか。

○委員（原田素代君） 7月の委員会までに決めるのか。

○委員長（下山哲司君） 7月の委員会で決めていただいたらいい。今までもそういうシステムだったと思いますので。

○委員（原田素代君） ここに書いてないから。

○委員長（下山哲司君） それは書きません。申し合わせでも何でもないんで、ここでの話ですから。よろしいですか。

○委員（北川勝義君） 7月に出しとったら、8月があれじゃけえ7月がえかろうなあ。

○委員長（下山哲司君） そうです、7月に。

○委員（北川勝義君） 最悪、決まらんとこは8月、7月に出したほうがええわな。

○委員長（下山哲司君） 大体今まで7月でいただいとるんで。よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、そういうことでお願いいたします。

それでは、次に行きます。

協議事項4番目、その他について。

○議会事務局長（奥田吉男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） 先ほど委員長が申された内容に重なる部分もございますが、前回の議会全員協議会の中で、一般質問の人数について上限を6名ではどうかという御意見をいただいたところでございまして、その中では9月議会からでええんじゃないかという話が出たんですが、最終的にこれでいくということには決定をいただいてないと思います。

これは議会の申し合わせ事項の中で、1日おおむね8名という明記がしてありますので、申し合わせ事項の変更について全協でということの御決定が要ということでございますが、9月定例会前の8月22日まで全協がございませんので、その前の議運では割り振りを決めてしまうことになりますので、きょうできれば決めていただいて、御協議いただいて決めていただければ。

○委員長（下山哲司君） 全協ではオーケーいただいとるつもりでおります。任せてもらえるつもりでおります。

○議会事務局長（奥田吉男君） うちは、意見が出たというぐらいの認識なので、改めてきょ

う御協議いただけたら。

○委員長（下山哲司君） はい。今、局長からお話がありました一般質問の人数についてですが、この前の全協のときに議運に任せるような感じに私は受け取ったんですが、違ってますか。

○委員（北川勝義君） いや、そんな感じじゃ。

○委員長（下山哲司君） 感じでしょ。きょう、皆さんに諮って確定するのが今度あれなんで、そのつもりではおったんですけど、いいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、今、局長が申し上げたように、6人、6人という案になっておりますので、9月から1日に6人ということをやるということでよろしいですか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 一言。今までは総数に対して折半して、例えば13人だったら6、7とかしてたわけですよ。それが例えば、6人っていうふうにもう切っちゃうと、6、7ができなくて3日目は1人になっちゃうでしょ。

○委員長（下山哲司君） いやいや、そういうことじゃない。この前の説明をさせていただいたのは、上限が前は8人だったのを上限を6人とさせていただくという話をさせていただいたので。

○委員（北川勝義君） 下山さん。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 例えば、12人とするが。12人としたら1日、2日で終わるわな、6、6で終わらあな。原田さんの言よんのは、例えば13人になった場合ということで、13人になった場合は、僕はそうやるんじやのうて、4、4、5とか5、4、4とかでいく考えで思うとんじやけど、そんな考えじゃろ。

○委員長（下山哲司君） はい、そういう考えです。

○委員（北川勝義君） そうせなんだら、改めて6、6いって、あと1人と2人がやりようったら、大変な……。

○委員長（下山哲司君） その都度割り振りは相談をさせていただきます。

原田委員。

○委員（原田素代君） 4、4になるという御意見ですけど、私はもっと現実的に、今までのように総数に対して、要するに7ぐらいまでいけるけど、8になったらきついから、じゃあ3日間にしましょうという、ちょっと運用を……。

○委員長（下山哲司君） 原田委員、もう皆さんに6を上限でというて相談しとんで、それを変えることはできませんので、そういう理解で。

○委員（原田素代君） ちょっと待って、どこで決定したのか。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 6人じゃったら18人じゃろう。6人が全員、議員18人じゃが、議長まで入れて。議長も一般質問してもおえんけど、したとしても3日間で終わるが、最高でも。4日になることはねえが。12人で今、原田委員が言った話の13人とか14人になったら、そこは臨機応変に5人、5人とか5、4、4で分けりゃあええんじゃ。そのけえぐれえでいきゃあ、委員会も3日間とつときゃあ、楽なのは楽なわな。

○委員長（下山哲司君） 今、申し上げたように……。

○委員（北川勝義君） 2日で済むか、3日かかるんが嫌がるかだけのこと。

○委員長（下山哲司君） 事前の議会運営委員会で決定するわけですから、それには内容もありますし、5、5、2の場合もあるし、5、4、3の場合もあるしという……。

いや、考え方は……。

○委員（北川勝義君） いや、5、5、2はねかろう、6、6じゃろ。

○委員長（下山哲司君） いや、12と言うたら、今言うた3、4の12じゃなしに5、5、2という考え方も、事前に相談をさせていただきますという……。

○委員（北川勝義君） ちょっと下山さん、ちょっと待って。12人が出たとしましょう。6、6で2日間で終わるんじゃろ。それを3日間するんじゃねんでしょう。

○委員長（下山哲司君） じゃけ、13になった場合よ。

○委員（北川勝義君） 13になる、12の話をしようんじゃもん。

○委員長（下山哲司君） 13になった場合に。

○委員（北川勝義君） 12じゃったら2日間じゃろ。

○委員長（下山哲司君） そうです。

○委員（北川勝義君） 12人までは2日間じゃろ。

○委員長（下山哲司君） そうです。

○委員（北川勝義君） それだけ確認しとかにゃ。

○委員長（下山哲司君） それはもう、じゃから、今言うたように上限が6と。

はい、福木委員。

○副委員長（福木京子君） たまたまきのう津山の議員と話をしたら、あそこは5人なんだって、1日が。ほんで1週間ぐらい、まあ、あそこは人口が多いし、もうほとんどの議員が質問するから、5、5でゆったりしてるなあと。じゃから、今回6ということは守って、6、7じゃったら3日でゆとりを持ってやるほうがいいんじゃないかなと。

○委員（北川勝義君） 12を超えたらそういうことになるんじゃけ、ええがな。

○委員長（下山哲司君） 決定させていただきます。

全協で皆さんに御相談しとるのは、上限を6ということでさせてもろうとんで、議運といた

しまして、この9月から上限を6と、8を6ということに改正するという事で申し合わせにさせていただきますので、よろしく、そういうことでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） 他にありませんか。

事務局側、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） 委員さんからありませんか、何か。

○委員（北川勝義君） ちょっとよろしいか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） くでえようなんじゃけど、いろいろあるんじゃけど、この間議長の命によって、招集によって太陽光のところに視察に行かせてもろうて、大変失礼なんで、日にちもたってから回答も、もう本当に納得いかんような回答をして、余りにも太陽光で自然のをやれえいうて、自然を破壊してまで国は太陽光をやれえやこ言ようらへんから、無秩序にやれえ言うてねえから、環境アセスが要らんからいうて、林地開発は要るんじゃし、皆。その中であっていくんで、議長の招集で行ったんで回答をもろうとんで、議長、これじゃあ回答にならんというのを一遍、産建の委員長にも申し入れしとんじゃけど、きちっと相手に言うてくださいよ、業者へ。それで、執行部のほうへも議長のほうから、もうちょっときちっとした回答を出せというのを言うていただきてえと思うんです。そうせなんだら、何ら許可、向こうとしたら、向こうって相手のほうじゃ、我々は許可をもろうとんですよ、おえんようになったら対応しようんじゃと、ええんじゃねえかと言うんと同じで、余りにも失礼なことになると思うんじや。

その次の週のときは、ちょうど産業建設常任委員会があったときには、議長は小原で今度は大雨が降って、田んぼの中へ流れて、議長は行かれとったわな、ここ、出席できんけえ言うて。それだけのことが起きとんじゃから、山を切って、誰が切っても、素人がしょんじゃったら別じゃけど、プロフェッショナルがしょんじゃけ、山を切ったら雨がどこからどうなるというのは、これはわかると思う。これ、悪いけど、したことのねえ人が山を切りようったら、これは見当がつかんけど、今プロが切りょんじゃから、ちょっと気をつけてもらって、その経過をもう一遍、きちんとした質問をして答えてもらいてえと思うんです。それをお願いしてえというのが1点です。

それからもう1点は、エスクの、市長は聞いとる、市長を責めようんじゃねえよ、これは誤解、委員長、市長は何か聞くのは、ほん近に聞いたというふうに言ようって、そうじゃねえ、森友じゃねえがもっと前じゃねかったんかという話をしようった。まあ、そんなことは抜きとして、全協でも説明してくれんでもええんじゃけど、とりあえず先に委員会で説明をして、担当委員会のところで説明してもろうて、これ、ああじゃこうじゃ言うけど、あそこを通るため

の道も市道があったり県道があったら、産建も関係あるわけ。それで、別段余り関係ねえと言うたら、総務が関係ねえ、総務文教が。でも、通学道もありやあ関係あるかもしれん。強いて言えば全部関係ある話かもしれんけど、とりあえず一番担当のものとこの窓口と言うたら、窓口という言い方はおかしい、厚生の方で一遍説明してもらって、それから我々にも委員長、議長のほうから報告、簡単じゃったら文章をトレーへ入れとってくれえということでええんじゃけど、これはそういう問題じゃねえと思うんで、前と同じようにすると、いろいろあの中で全員の、地域住民が出たというたら区長1人に質問しとる、説明しとる、それは違うじゃねえかというたりするのがあったんで、ちょっと明確にやってもらいてえ。これがせつかく第1次のときには画期的な基金を積み立ててやるということでやってくれたのに、2回目も同じようにしてくださると思よんじゃけど、わからんのんで、相手も軽うしょうって、ぱぱぱとしてから、これは違うとった、後でバックして直せというより、密に連絡をとってやったほうがええと思うんで、太陽光のような二の舞になりとうねえんで。

今、思うたのが、太陽光が悪い言よんじゃねえよ、失礼なけ、ちょっとそのようなことをまた説明会をしていただきてえなと思うて。こういうことをやるんですというんで、というのが、僕は原則的には地元の区長さんらあが賛成すれば僕はええと思よんじゃけど、それからまた、それだけじゃこのことは太陽光の水のことと一緒に、下流へ流れていくんで、それだけのエスクのほうは対応してくれとる、そういうことをさすとかというて。それから、太陽光はまたやってくれるんじゃろうけど、そこらも解明してもらいてえいうのが思います。

○委員長（下山哲司君） 市長のほうに一言お願い、今の北川委員が言われた、エスクと太陽光について、市の対応を今後、議会のほうも対応が必要になってくるんだと思うんで、市のほうが指導せにゃあいけん立場にあるわけですから、その辺の考え方だけきょう伝えといていただいたらと思いますが、どんなでしょう。

どっちに転んでも議長と市長と相談してもらって、私たちにどうせえと言うてもらわにゃ…。

はい、議長。

○議長（金谷文則君） 議会のほうで皆さんのいろいろな意見を聞いたものを、私のところまでとめたものを、それを市長のほうにお出しするというような形のルートをとりたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） それでは、市長、そういうことで議長のほうから。

皆さん、それでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、そういうことで議長のほうにお願いいたします。

他に、執行部のほうはありませんか。

○委員（治徳義明君） 済いません。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 済いません。遅参しまして申しわけございませんでした。

○委員長（下山哲司君） ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、その他についてもうないようですので、以上をもちまして第6回議会運営委員会を閉会といたします。

ありがとうございました。

午後1時24分 閉会